



岩永善信 Yoshinobu Iwanaga

琴師・宮城野

10弦ギターの名手 岩永善信が、2015年11月に同一プログラムによるリサイタルを大阪、名古屋、東京の三都市で開催、最終日となった11月28日には東京Hakuju Hallに出演した。岩永のリサイタルは自編を中心とする意欲的なレパートリーが並ぶことが特徴であるが、当夜の白眉は最後に演奏されたコダーイの〈無伴奏チェロ・ソナタ Op.8〉第3楽章である。導入部として用いられた〈Op.11-1〉からアタッカで演奏された〈チェロ・ソナタ〉は、オリジナルのチェロにおいても超絶的な技巧を要する難曲であるが、岩永は10弦ギターの重低音によるドローン効果に東せ、この曲が持つ急速で民族音楽的なエネルギーを見事に活写してみせた。

プログラム：ソナタ・イ長調 K.430、ソナタ・ハ長調 K.380（スカルラッチェ）、無伴奏チェロ組曲第2番 BWV1008 [プレリュード、アルマンド、クーラント、サラバンド、メヌエットI、II、ジーク]（バッハ）、ヴェルディの椿姫の主題による幻想曲（アルカス〜岩永善信）、[スペイン舞曲集]より第3番「ファンダンゴ」、昔話、東洋の行進曲（グラナドス）、早春賦（中田章〜武満 徹）、[森の中で]より〈ウェンスコット・ポンド〉〜コーネリアス・フォスの絵画から（武満 徹）、星の世界（コンバース〜武満 徹）、[7つの小品]よりレント Op.11-1、無伴奏チェロ・ソナタ Op.8より第3楽章（コダーイ）。

[2015年11月28日 / 東京・Hakuju Hall]